

## 登録団体概要書

(令和8年2月作成)

（ふりがな） 団 体 名	（トケイエイカツ`ウホジ`ン チョウジ`ユシヤカイ`シエンキョウカイ） 特定非営利活動法人 長寿社会支援協会			
代表者職・氏名	会 長 兼 間 道 子			
主たる事務所の 所 在 地	〒761-8052 高松市 松並町802-1			
連 絡 先 等	電 話	087-865-8001	F A X	087-865-8039
	e-mail	magokoro@hyper.ocn.ne.jp		
	ホームページ	http://cho-jyu.info/		
法人設立年月	平成 11年 6月	正会員数	159 人	
活 動 目 的 （定款に記載された目的）	高齢化が急速に進行する中、高齢者をはじめ障がい者や子供たち弱者の立場に立ち「愛・忍耐・技術」の理念と「いつでも、どこでも、だれにも」をモットーに、地域社会を豊かで住みよくするための福祉活動に関する事業を行い、福祉の増進と過ごしやすい町づくりの推進に寄与することを目的とする。			
主たる活動分野	介護、福祉サービス、研修事業			
活 動 状 況	主 な 活 動	相互扶助によるまごころケアサービス（在宅の高齢者、障がい者、子供たちに対する福祉支援事業） 居宅介護支援事業 居宅福祉支援事業 障がい福祉サービス事業 自家用自動車有償運送事業		
	活 動 地 域	高松市、さぬき市、三木町		
	活 動 頻 度	まごころサービス 月平均 220 時間 訪問介護事業 月平均 500 時間		
	過 去 の 事 業 実 績	相互扶助活動の普及啓発（時間預託システムの開発普及） 全国組織「日本ケアシステム協会」の立ち上げ 行政機関への提言、介護福祉士実務者研修、初任者研修の実施 基金訓練介護福祉サービス科の実施 移動サービス（自家用有償運送）認定運転者講習 地域の居場所として開設した「まごころハウス」を活用した取り組み		
今後の活動方針	相互扶助による「まごころケアサービス」活動の普及啓発の推進 地域の在宅高齢者、障がい者などを対象とした支援活動 これまでの実績を踏まえ新たな活動として、身元保証、金銭・財産管理、任意後見、死後事務等の受注・委託等の事業に取り組む			
県民へのPR	高齢者・障がい者などに寄り添い、相互扶助の精神に基づく助け合い活動を普及促進してきました。介護保険制度により活動が一時停滞しましたが必ずしもこれで全て賄いきれない現状もあり当会の活動が見直されています。ぜひ一緒に活動しませんか。			

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(令和 8年 2月 作成)

団体名 特定非営利活動法人 長寿社会支援協会

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とするNPO活動を行っていること</p>	<p>「まごころケアサービス」は昭和57年に一切の報酬を得ないボランティア活動として、高松市に在住の数名の主婦により始められ、認知症や独居老人、障がい者などの援助をしてきました。</p> <p>しかし、介護を受ける方から「無償では頼みづらい」との意見があり実態調査の結果、多数の方から有償がよいとの意見が寄せられました。一方、援助者からは「賃金を受け取るのは趣旨が違う」と抵抗がありました。</p> <p>そこで利用者と援助者との意見を調整するため「タイムストックシステム」を開発しました。援助者は有償の代わりに自分が援助した時間分をストック（貯蓄）しておいて、将来自分や家族が必要なときその時間分のサービスを受けられる制度が選択できることとしました。これは相互扶助の助け合い活動です。</p>
<p>より公益性の高いNPO活動を行っていること</p>	<p>「まごころケアサービス」の活動は当時「香川県老人福祉問題研究会」が取り組み始められました。高松市で発祥した活動ですが、全国各地にこの取り組みが広がればと願い普及啓発に努めました。</p> <p>香川県内では国分寺、屋島、丸亀、三豊の各センターが発足し、香川県から転勤していった人が転勤先でセンターを立ち上げ、趣旨に賛同する人たちにより全国各地にセンターができ、平成3年に全国組織「日本ケアシステム協会」が発足しました。センター間で点数を互換でき、例えば高松で活動した点数をセンターのある旭川のどなたかにプレゼントしてサービスを受けることが可能になりました。各地域にできるだけ多くのセンターが生まれ、介護保険制度を補完する形で活動の輪が広がればと考えています。</p>
<p>活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること</p>	<p>平成12年に介護保険制度が創設され、タイムストック活動への参加者は少なくなっています。</p> <p>介護保険は優れた制度で私たちも大いに歓迎しましたが利用者にとって万全ではなく、私たちの活動は継続することが必要だと考えています。</p> <p>急速に高齢化が進行するなか、お元気な時にまごころケアサービス（活動に参加した時間だけ将来ご自分やご家族が必要に応じて援助を受けられる）活動にご参加いただき、老いや死とは、生とは何かを活動の実践を通じて学びを深められることを切望いたします。そして地域社会に貢献できる活動です。ぜひご一緒に取り組みませんか。</p>

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。